令和4年度　教育部長マニフェスト（総括）

教育部長	女澤　康子

【基本方針】

子どもから大人まですべての市民が生涯にわたって学びあい、育ちあい、豊かな心と個性を育み、様々な場面で活躍できる「総合力豊かな人材を育てるまちづくり」の実現に向け、学校教育及び生涯学習の充実を推進するとともに、生涯スポーツの振興に努めます。

また、岩手県指定史跡となった「久慈城跡」について、市民と連携して史跡の保護を図るとともに、調査研究に努め、「久慈城跡」の文化的価値について情報を発信し、保護意識の啓発に取り組みます。

【重点目標】

1　学校教育の充実

達成状況：**一部達成**

○内容

■ 国際理解教育の充実のため、生きた外国語や異文化に直接触れる機会を提供し、学校における外国語活動の充実を図ります。
- 外国語に対する興味・関心がある児童生徒の割合の向上を図ります。（小学校R3実績69%→R4目標70%、中学校R3実績49%→R4目標53%）
- 岩手県中学2年生英検IBAの平均スコア650点以上を目指します。

■ 通学路の安全を確保するため、通学路の合同点検を実施し、危険箇所の把握と安全対策を実施します。
- 注意喚起のため、必要な箇所に看板を設置します。

■ 児童生徒が快適で、安心・安全な学校生活を送れるよう学校施設の整備に努めます。
- 久慈湊小学校移転改築事業を推進します。（移転候補地の決定）

■ 学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの学びの充実を図るため、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の導入による地域学校協働活動の充実に取り組みます。
- コミュニティ・スクール設置4校以上を目標とします。

●取組結果

- 外国語に対する興味・関心がある児童生徒の割合は、小学校78.4%、中学校66%で目標を達成しています。
- 岩手県中学2年生英検IBAの平均スコアは638.6点であり、目標には届きませんでしたが、昨年度より岩手県平均に近づいています。
- 通学路の安全確保については、6月の通学路合同点検において、危険箇所（8カ所）の点検を関係機関と実施しました。11月の通学路安全推進会議において、対策方法を決定し、「通学路交通安全プログラム」に登載したうえで、関係機関が連携した取組を進めています。
- ドライバーへの注意喚起看板については、3月末までに設置完了する予定です。
- 学校施設の整備として、久慈地区の小中学校にエアコンを設置し、児童生徒の学習環境の整備を図りました。
- 令和8年4月開校予定の久慈湊小学校移転改築事業については、令和4年5月末に移転候補地を「県立久慈病院南側」に決定しました。令和5年2月には用地測量を終え、現在は、基本設計・地質調査・用地取得を進めています。引き続き、移転改築基本構想に掲げた方針のもと、学習環境と防災機能の充実を目指して、円滑に事業を進めていきます。
- コミュニティ・スクールについては、2月末現在、4つの学校運営協議会が設置され、コミュニティ・スクール（学校運営協議会が設置された学校）は7校となりました。

【設置校】①夏井小学校・平山小学校・夏井中学校
②侍浜小学校　③宇部小学校・宇部中学校
④山形中学校

2　生涯学習の充実

達成状況：**未達成**

○内容

■ 子どもから高齢者までの多種多様な学習意欲を支援するため、ニーズに応じた学習機会の提供に努めます。
- 「琥珀のまち生涯学習ボランティアバンク」及び「まちづくり直送便」による講師派遣、出前講座の実施回数80回、利用者数2,000人を目標とします。【コロナ影響】

■ 児童生徒の読書活動を推進するため、図書館から司書を派遣し読書活動や資料修理、環境整備等を行い、学校図書館への支援を実施します。
- 訪問支援する学校、年間8校以上を目標とします。

●取組結果

- 市民の登録講師による「生涯学習ボランティアバンク」や「まちづくり直送便」の市職員による講師派遣、出前講座を実施しました。新型コロナによる影響により実施を中止する団体もあり、2月末現在、実施回数68回、利用者数1,651人となっています。3月末までに利用を予定している団体もあり、市民活動の活性化と共に、増加することが見込まれます。

「ボランティアバンク」　47回、利用者1,183人
「まちづくり直送便」　21回、利用者468人
合計実施回数　68回（達成率85.0%）
合計利用者数　1,651人（達成率82.6%）

- 小・中学校の学校図書館へ市立図書館職員を派遣し、読書活動や図書室の環境整備等の支援を行いました。2月末現在で7校、21回の訪問を実施。複数回の支援を求める学校が多く、今後とも学校図書館の支援に努めます。

3　地域の歴史と文化の継承と発信

達成状況：**一部達成**

○内容

■ 地域の史跡、文化財、古民具等の調査を実施する体制を充実させ、保存と情報発信に努めます。
- 岩手県指定史跡となった「久慈城跡」について、現地見学会や講座を2回以上開催し、市民の理解と保護意識の啓発を図ります。
- 久慈出身の武将、南部（大浦）光信公と津軽氏にゆかりの5自治体が交流する「歴史文化で結ぶ交流事業」開催に併せて、郷土の歴史や文化について理解を深めることを目的に「光信公資料展」を開催し、1,000人の来場者数を目標とします。【コロナ影響】

●取組結果

- 「久慈城跡」について、現地見学会や講演会をはじめ、講演会に併せてパネル展や文化財展を行い、歴史的背景や価値に理解を深めていただけるよう取り組みました。また、市民センター事業等へ講師派遣を行い、広く市民への啓発に努めました。

① 現地説明会　7月2日開催　（参加者26名）
② 講演会　12月3日開催　（来場者171名）
③ 講師派遣：市民センター等が主催する現地見学会へ文化財専門官を派遣（3回実施）
④ 文化財展　2月11日～19日　（来場者600名）

- 「歴史文化で結ぶ都市間連携事業」として、「大浦光信公資料展」を開催しました。また、歴史発表会では、光信公と津軽に関する歴史を5市町の文化財担当者がリレー形式で解説を行いました。

① 資料展　10月1日～10日　（来場者354人）
② 歴史発表会　10月9日　（来場者123人）
イベント最終日は産業まつりの中止に伴い、歴史講演会が延期となったこともあり、来場者数は目標に達しませんでした。

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標

4　生涯スポーツの振興

達成状況	一部達成

○内容

■ 生涯スポーツの充実のため、市民誰もが主体的、継続的にスポーツに親しみ、健康増進と体力づくりのできる環境の整備に努めます。

- 「あまちゃんマラソン」を開催し、当市の魅力を発信します。参加人数については、800人を目標とします。【コロナ影響】
- 生涯スポーツに関する満足度平均値（市民満足度アンケート）の向上に取り組みます。（R3実績3.106ポイント→R4目標3.106ポイント以上）

■「柔道のまちづくり」の推進のため、三船十段記念館を会場に各種大会、柔道教室を開催し、柔道の普及と競技力の向上を図るとともに、道場生の確保に努めます。

- 三船記念館道場生新規入門者数10人以上を目指します。

●取組結果

- 「あまちゃんマラソン」は、コロナ禍による2年の中止を経て3年ぶりに開催することができました。参加定員1,000人に対して参加申込人数855人、当日参加人数728人となり、目標の800人を下回りました。
- 生涯スポーツに関する満足度平均値（市民満足度アンケート）は3.119ポイントで、目標を達成しています。
- 「柔道のまちづくり」の推進のため、市長杯柔道大会を開催し、柔道の普及と競技力の向上に努めました。
- 三船十段記念館の今年度新規入門生は、2月末現在で小学生11人、中学生3人の合計14人となっています。

【道場生合計数】
小学生39人、中学生22人、高校生5人　計66人

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標